

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		221-01-03			
事務事業名		自主防災組織育成事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)			
				連絡先		内線2720			
担当部署名		防災企画課		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	施策目標		2		地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	9	消防費
	施策		2		防災・減災		項	1	消防費
	施策の方向		1		防災体制の充実と意識の高揚		目	5	災害対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		自主防災組織						
	目的 (どうしたいか)		自主防災組織の地域連携や防災意識の向上を図り、市全域に自主防災組織を設置及び連携し、災害時の地域力を高める。						
	手段 (事業内容)		災害時に指定避難所となる各小学校に対して、コミュニティ助成制度を利用して、救助用備蓄資機材を配備し、各種防災訓練の実施を促すとともに、指導や援助を行う。						

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 0円 【特定財源】 無し	
当初予算額	事業費	0	0	0		
	事業費	0	0	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	町会もしくは自主防災組織主催訓練の開催数	単位	回
指標の説明	市内の防災訓練開催数(小学校区単位)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	6	6	6
実績	0	0	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	自主防災組織の組織率	単位	%
指標の説明	50,376世帯中15,143世帯加入(令和2年3月31日現在)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	32	32	32
実績	30	30	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 例年なら、地域での訓練などに参加し指導や援助を実施しているが、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症による影響により訓練を行う団体が無かった。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 自主防災組織率の向上などを行うためには、地域で行う訓練等に対してのサポートや研修などが必要である。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		221-02-01	
事務事業名		防災講演会開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2720	
担当部署名		防災企画課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	9	消防費
	施策	2	防災・減災		項	1	消防費
	施策の方向	1	防災体制の充実と意識の高揚		目	5	災害対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
	目的 (どうしたいか)	家庭や地域における防災・減災対策意識の浸透を図る。					
	手段 (事業内容)	市内の中学校区を開催地とし、専門の講師に講演を依頼し実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 0円 【特定財源】 無し	
当初予算額	事業費	200	100	150		
決算額	事業費	0	0	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開催数	単位	回	
指標の説明	市主催防災講演会開催数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		1	1	1
実績		0	0	－

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	参加者数	単位	人	
指標の説明	市主催防災講演会参加者数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		300	300	300
実績		0	0	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	縮小・統合
(担当部局による総合評価の理由や課題) 中学校区を対象に事業を行ってきたが、開催場所としている各中学校の体育館では来場するための交通手段に制限が出てしまうため、一定の参加人数を求めることが難しい。また、部活動の妨げにならないようにテスト期間中での開催となるため開催時期にも制限が出てしまう。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 自主防災組織育成事業と統合し、講演型イベントだけでなく、ワークショップのような市民参加型の研修会等を実施し、市民の防災意識啓発の改善を図る。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		221-02-02	
事務事業名		防災講座・防災研修開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2720	
担当部署名		防災企画課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	9	消防費
	施策	2	防災・減災		項	1	消防費
	施策の方向	1	防災体制の充実と意識の高揚		目	5	災害対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等					
	目的 (どうしたいか)	災害発生時において的確な判断や行動がとれるよう防災に関する自助・共助の意識や知識の向上を図る。					
	手段 (事業内容)	①市職員への防災研修の開催や庁内での訓練の実施。②小学生を対象とした「こども防災教室」の開催。③地域・団体等からの要請に基づく防災講習会等の実施					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】
当初予算額	事業費	40	40	806	0円
決算額	事業費	0	0	—	【特定財源】
	特定財源等	0	0	—	無し

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開催数	単位	回	
指標の説明	防災研修・訓練及び講座開催数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		15	15	15
実績		0	0	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	参加数	単位	人	
指標の説明	防災研修・訓練及び講座参加者数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		1,000	1,000	1,000
実績		0	0	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	拡充・重点化	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 例年なら、小学生を対象とした「こども防災教室」や職員訓練、地域への出前講座などを実施しているが、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症による影響により規模縮小や開催を見送った。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容) こども防災教室の開催校の拡充や職員向け研修・訓練のさらなる実施、出前講座の実施地域や団体の拡充などを行う必要がある。